

緊急事態宣言に伴い経営に大きな影響を受けている区内事業者

令和3年度9月補正予算（第4号）が審議されています。

一般会計の補正総額は、98億2700万円で、補正後の歳入合計は、2351億5900万円となります。

補正内容は

【歳入】国庫支出金 28億6866万円、都支出金 1373万円、前年度歳計剩余金（繰越金）69億2167万円、諸収入 2292万円

【歳出】

<新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う緊急対策に要する経費>

- ・感染者急増による移送費、区が負担する診療報酬等 29億4205万円
- ・新型コロナワクチン接種回数の実績増、対象者拡大等 6億5748万円
- ・積極的疫学調査、健康観察等々のための職員の時間外手当等 1億2769万円
- ・緊急事態宣言に伴い経営に大きな影響を受けている区内事業者に、区独自の事業継続支援金 12億6087万円

・その他、この間行ってきたアーティストへの支援の申請者増、営業時間短縮

に伴う協力金や産業振興公社の各種助成金の申請者の増に伴う経費、

高齢者施設などへのPCR検査費用、避難所の防護服など購入費などを計上。また、区民まつり、農業まつりの中止に伴う費用の減額と代替事業の予算が計上されています。

<緊急かつ必要性の極めて高い事業に要する経費>



「自宅療養者」の急増、子どもへの感染拡大、新学期の開始にあたって、区長、教育長に、対策強化を申し入れ

第3回定例区議会の一般質問が9月21, 22日行われ、日本共産党からは、山田ひでき議員、竹内愛議員が質問に立ちました。質疑の様子は、区議会ホームページで見ることができます。

・マイナンバーカードの申請にインセンティブ（区内共通

商品券）を付与 4544万円

・介護保険制度改正に伴うシステム改修 2826万円

・オンライン授業配信のためのWEBカメラ購入 585万円

・コロナ禍における区内事業者への経済対策の一環として

施設維持改修工事を前倒し実施 7522万円

<国・都支出金返還金> 18億5491万円
(※介護保険特別会計も国と都への返還金を補正)

<基金への積立金> 27億6030万円

今回の補正後の財政調整基金は、227億5674万円になります。（補正前、199億9643万円）

【中小企業者事業継続支援金給付事業】

12億6087万円（全額区独自財源）

板橋区のワクチン接種終了？！

「10月中旬以降にファイザー社製のワクチンが板橋区に配分される見込みはありません。」「このまま板橋区内で接種を受けるためにお待ちいただいでも、接種を受ける時期が遅くなるか、結果的に接種を受けられなくなる可能性があります」

板橋区のホームページの発表に衝撃が走っています。国の方針転換によるものです。板橋区は8月下旬の配分量は42%割増（都内4位）で供給を受ける決定がされていますが、国は、9月上旬から10月上旬の間に配分する量について、ワクチン接種のスピードが遅い自治体に多くワクチンを配分し、全国で足並みを揃えると方針変更。このため、板橋区への配分量は9月以降急減。国は全体の接種率が80%に達したら接種終了としており、板橋区では10月上旬の配分まで、接種対象者の76%分のワクチンが確保されると試算しています。

引き続き、希望する人が接種できるよう求めていきます。

4551通

(9月15日)

新型コロナの感染拡大で区民のくらしは・・・

現在)

区政アンケートへの回答、連日続々と！

7月半ばから全戸配布を開始した日本共産党板橋区議団の「区政アンケート」。配布直後から、区議団控室には連日回答が寄せられています。

9月15日現在、4551通。4年前（2017年）に実施した同じ全戸アンケートの3倍を超えました。

アンケートには、新型コロナウイルスの感染拡大の中で様変わりしている暮らし様子、要求や願い、怒りが切々と書き込まれています。

「区政アンケート」は 10月末〆切 結果の公表は来年1月

すでに集計作業を開始していますが、集計結果の公表は、来年1月になる見込みです。区議団ホームページで公開するほか、記名いただいた方にはお届けいたします



「シフトが減って収入が激減。もう一度現金給付を！」「政府のコロナ対策は後手後手」「自宅療養は事実上医療放棄だ！」「介護保険料高すぎる！」「モヤモヤした差別感に政治の光が当たった！ジェンダー平等すすめてほしい」など、様々な声が寄せられています。

また、「こういう時に声を聞いてくれる御党に感謝します」「区議さんと会話しているような気持ちになりました」「陰ながら応援しています」等々のうれしい書き込みも。

【速報 9月13日】板橋区新型コロナウイルス感染症自宅療養者医療サポート事業（1億5200万円 全額国の補助金を活用 第5号補正）

入院待機等により自宅療養している新型コロナウイルス感染症患者の不安解消と重症化予防のため、区が委託する支援医療機関（板橋区医師会）による健康観察、救急往診、電話相談及び急変時の一時入院手配等を行う事業。24時間切れ目のない支援体制を構築する。2021年9月15日から2022年3月末まで。3ヶ所、1日20人、200名を想定。

板橋区内の自宅療養者は8月中旬に1600人に上り、いま



板橋区令和2年度（2020年度）決算審査 が始まります。（10月13日～27日）

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中で、8次にわたる補正予算が組まれました。

今後の議会日程（決算審査）

10月12日 本会議

10月13日 決算審査分科会（企画総務・区民環境・健康福祉）

10月14日 決算審査分科会（都市建設・文教児童）

10月20・21・22日 決算審査総括質疑

10月26日 議会運営委員会

いたばし元気帳

号外

発行責任者・日本共産党板橋区議団 板橋区板橋2-66-1

日本共産党板橋区議団ニュース 2021年10月



ご意見ご要望をお
寄せください。